

サンロード青森にて、東通村物産展を開催しました！！



1月27日、28日に村が主催する「東通村物産展」をサンロード青森特設会場で開催し、東通牛をはじめ、尻屋産ウニや野牛産地まきホタテなどの特産品を販売しました。特設会場は連日、村の特産品を買い求める人で賑わい、活気に溢れていました。

物産展では目玉商品として“たべもの工房 来美里”の東通村の特産品をふんだんに使ったお弁当と、『ヒロクッキングサロン』を主宰する野呂浩子先生の“ロースイーツ”が各日限定で販売され、どちらも買い求める人で行列ができ、すぐに完売となりました。

また、畑中稔朗村長による村PRコーナーや“かんだちくん”によるじゃんけん大会が開催され、見事勝利した方には、東通牛をはじめ村の特産品がプレゼントされ、会場は大盛り上がりとなりました。

物産展を訪れた方は「試食で食べた東通牛がすごくおいしかった。今日買ったお肉を食べるのが楽しみです」と物産展を満喫していました。

今年の東通村物産展も、盛況の内に幕を閉じました。

東通村と都市部との交流20周年記念式典を行いました！！



2月3日、東京都北区浮間小学校にて、東通村と都市部との交流20周年を記念し、式典が開催されました。「東通村と都市部との交流事業」は、電気の生産地と消費地の相互理解を目的としたことがはじまりで、今年で20周年を迎えました。

畑中村長は式辞にて「浮間中学校の職場体験事業や東通中学校の赤羽スズラン通り商店街でのPR活動、更には、北区民まつりへの参加など、北区と東通村の交流は、着実に広がっているものと実感している」と述べ、これからの交流へも意欲を示しました。また東通小学校の祐川校長は、浮間小学校の児童へ向けた挨拶を述べ「今年の東通村の冬はいつもより暖かく雪が少ないが、体育の時間にはスキーをしたり、休み時間にはソリ遊びをしています」と伝えると、浮間小学校の児童からは「いいなあ」「すごい」と歓声があがりました。

式典後には交流事業が20年目を迎えたことを記念し、当村と北区、そして浮間小学校と東通小学校の輪と、これまで培ってきた絆が益々深まることを願い、東通村に約600年前から脈々と受け継がれてきた、国重要無形民俗文化財指定の「能舞」が披露されました。今から5年前の交流15周年記念事業でも、白糠勇清倶楽会による能舞公演があり、当時参加していた小学生が、高校生となった今日、成長した姿で能舞「鞍馬」を披露する運びとなりました。